

# 平成24年5月 東京地区百貨店売上高概況

平成24年6月18日

## I. 概況

1. 売上高総額	1,180億円余
2. 前年同月比	2.1% (店舗数調整後/3か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭2.3%(88.9%) : 非店頭0.5%(11.1%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成24年4月対比±0店)
5. 総店舗面積	911,369㎡ (前年同月比: -0.8%)
6. 総従業員数	19,226人 (前年同月比: -0.9%)
7. 3か月移動平均値	10-12月 -1.4%、11-1月 -1.7%、12-2月 -1.3%、 1-3月 6.1%、2-4月 10.2%、3-5月 11.3%

[参考] 平成23年5月の売上高増減率は-4.3% (店舗数調整後)

### 【5月売上の特徴】

- (1) 東京地区の5月の入店状況は、天候不順と休日日数減の影響を受けたものの、各店が集客催事を積極展開したことで併せ、話題施設の相次ぐ開業で首都圏の観光地化が進んだこともあり、ほぼ前年並みの水準に留めることができた。
- (2) 今年のクールビズ商戦は、シャツや下着等の軽衣料だけでなくジャケット・スラックスもよく動いて購買単価が増加したことから、紳士売上全体を押し上げる結果となった。
- (3) 母の日ギフトは都内でも活況で、婦人アクセサリは多くの店で二桁増を記録した。また、今期の特徴として、母の日アイテムを自分用に購入するケースが増えている。
- (4) 東京地区の食料品売上は前年比3.0%増と好調に推移したが、その一つの要因として、北海道をはじめとした地方物産展の積極展開が寄与していると分析されている。
- (5) 6月中間段階までの商況は、前年の6月がプラスを記録していることに加え、中元商戦や父の日商戦の出足がやや出遅れていることなどから、前年同月比で概ね1~2%下回る水準で推移している。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)  
①増加した: 5店、②変化なし: 7店、③減少した: 7店、④不明: 1店
- (3) 5月歳時記 (GW、子供の日、母の日) の売上 (同上)  
①増加した: 6店、②変化なし: 7店、③減少した: 1店、④不明: 6店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)  
①増加する: 2店、②変化なし: 13店、③減少する: 4店、④不明: 1店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2012年05月

※店舗数調整後 ( )が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>総 額</b>	<b>118,090,886</b>	<b>100.0</b>	<b>2.1 ( 1.3)</b>
紳士服・洋品	10,937,662	9.3	3.1
婦人服・洋品	24,266,281	20.5	1.6 ( 0.9)
子供服・洋品	2,705,927	2.3	1.5
その他衣料品	2,160,989	1.8	0.4
<b>衣 料 品</b>	<b>40,070,859</b>	<b>33.9</b>	<b>1.9 ( 1.5)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>16,749,737</b>	<b>14.2</b>	<b>4.0 ( 1.0)</b>
化粧品	6,762,140	5.7	6.9
美術・宝飾・貴金属	6,292,906	5.3	5.0
その他雑貨	5,737,150	4.9	-3.6
<b>雑 貨</b>	<b>18,792,196</b>	<b>15.9</b>	<b>2.9</b>
家具	1,921,679	1.6	4.0
家電	1,078,873	0.9	68.6
その他家庭用品	4,319,596	3.7	-1.1 ( -2.3)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>7,320,148</b>	<b>6.2</b>	<b>6.8 ( 6.0)</b>
生 鮮 食 品	4,632,535	3.9	0.6
菓 子	7,368,569	6.2	4.5
惣 菜	6,250,244	5.3	4.5
その他食料品	8,206,060	6.9	1.9 ( 0.8)
<b>食 料 品</b>	<b>26,457,408</b>	<b>22.4</b>	<b>3.0 ( 2.6)</b>
食 堂 喫 茶	3,058,849	2.6	1.9 ( 0.8)
サ ー ビ ス	2,322,957	2.0	-9.1
<b>そ の 他</b>	<b>3,318,732</b>	<b>2.8</b>	<b>-15.2 ( -17.0)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。  
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

※

商品券	3,250,685 千円	-40.1 ( -40.2)
従業員数	19,226 人	-0.9
店舗面積	911,369 m <sup>2</sup>	-0.8

営業日数	31.0 日	前年	31.0 日
------	--------	----	--------

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、3か月連続で全品目がプラスとなり、衣料品、身のまわり品、家庭用品が3か月連続のプラス、雑貨と食料品が4か月連続のプラスとなった。その他の品目は、その他雑貨とその他家庭用品が3か月ぶりにマイナスしたが、その他はプラスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	2.1	—	3か月連続プラス
紳士服・洋品	3.1	0.3	8か月連続プラス
婦人服・洋品	1.6	0.3	3か月連続プラス
子供服・洋品	1.5	0.0	3か月連続プラス
その他衣料品	0.4	0.0	2か月連続プラス
<b>衣料品</b>	1.9	0.7	3か月連続プラス
<b>身のまわり品</b>	4.0	0.6	3か月連続プラス
化粧品	6.9	0.4	4か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	5.0	0.3	4か月連続プラス*
その他雑貨	-3.6	-0.2	3か月ぶりマイナス*
<b>雑貨</b>	2.9	0.5	4か月連続プラス
家具	4.0	0.1	2か月連続プラス
家電	68.6	0.4	4か月連続プラス
その他家庭用品	-1.1	0.0	3か月ぶりマイナス
<b>家庭用品</b>	6.8	0.4	3か月連続プラス
生鮮食品	0.6	0.0	5か月連続プラス*
菓子	4.5	0.3	4か月連続プラス*
惣菜	4.5	0.2	10か月連続プラス*
その他食料品	1.9	0.1	2か月ぶりプラス*
<b>食料品</b>	3.0	0.7	4か月連続プラス
食堂喫茶	1.9	0.1	3か月連続プラス
サービス	-9.1	-0.2	4か月ぶりマイナス
<b>その他</b>	-15.2	-0.5	2か月ぶりマイナス
<b>商品券</b>	-40.1	-1.9	13か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>